

松山大学論集  
第三十一卷第三号  
令和元年八月発行

雑誌『国際知識』  
総目次(四)

伊藤信哉

資料

雜誌『國際知識』總目次(四)

伊藤信哉

第九卷一号（一九二九年一月一日）

主張　アヴノール氏の南京政府訪問……………	本協会（奥山）	一―四
昭和四年の劈頭に立ちて——日支交渉・國際無理解・國際平和組織の完成……………		
……………	法学博士　米田実	五―一五
不戰条約の國際法律的觀察(一)……………	帝大教授　神川彦松	一六―二四
支那における日英協調は可能なりや……………	神尾茂	二五―三三
支那統一の国内的障礙……………	岡野一朗	三四―四八
序論／基礎薄弱なる中央政府／地方軍閥の封建的割拠／税制の不整理と苛税／国内関税制度／幣制の不……………		
統一／交通機關の不備／土匪流賊の跋扈／ギルド制の利弊／大家族制度／結論……………		

露国は如何にして宣伝しつゝありや(完)……………人見幸夫 四九―五八

西守東進策／露国の対欧宣伝政策／露国の対亜細亜宣伝政策／結論

新刊紹介 支那の現状(大西斉氏著)／JUSTICE FOR HUNGARY……………五八―五八

国際機関に於ける決議方法——全会一致と多数決の問題……………牧内正男 五九―六六

一般国際機関の決議方法／国際聯盟諸機関の決議方法／米国の司法裁判所加入問題

米國産業界から觀た共和黨の勝利……………大平進一 六七―七六

ドイツ賠償の再査定……………深沢甲子男 七七―八二

露国に於ける反ユダヤ熱……………広岡光治 八三―九二

反ユダヤ熱発現の形態／反ユダヤ熱の原因／ユダヤ人の身分上の変遷／ソヴェト政府の対ユダヤ人政策

聯盟の活動(29)……………國際聯盟事務局東京支局調 九三―九六

最近の聯盟主催会合／第五十三回理事会の議題／經濟委員會の会合／教育映画國際協會の設立／聯盟放

送の成績とその新計劃／雜録

本協會ニュース(十一月)……………九七―九九

(日誌)／出版／英文法典起草委員會／會員

編輯後記……………M生 九九―九九

資料

英仏軍縮協定(英文)……………〔※卷末より〕 1―25

## 第九卷二号（一九二九年二月一日）

主張 英米争覇の将来……………	本協会（大熊）	一―六
ソビエト聯邦の内状……………	駐露大使 田中都吉	七―一九
露西亜の対聯盟關係／露西亜の外交關係／露国の国内状態／新經濟政策の結果／共產党の内訌問題／露西亜の国民性……………		
英仏協商化より救へ……………	高木信威	二〇―三〇
日本よ英米の調停役となれ——次の軍縮會議を促進するよう日本政府が積極的態度を勧む……………	石丸藤太	三一―四七
次の軍縮會議と日本／英仏の態度／米国の態度／伊太利の態度／日本の態度／次の軍縮會議の難問題と妥協策／英米の軍縮熱／日本よ英米の調停役となれ……………	岡本鶴松	四八―五五
國際聯盟と中立国……………	伊藤龜雄	五六―六七
英國の総選挙を前にして……………	川原次吉郎	六八―七八
悠然として総選挙に／多数党の悲哀／保守党内閣の総勘定／攻勢を取る労働党／活氣附いた自由党／聯盟の可能性／婦人は何処へ／外交政策への影響……………	小川節	七九―九三
英國労働党と國際聯盟……………		
日支関稅交渉の経緯——七種差等稅率實施宣言に至るまで……………		
交渉に至るまで／第一次交渉／第二次及び第三次交渉／関稅予備交渉進む／日支双方の諒解成る／列國		

の態度／支那新関税率の内容／我国への影響

新刊紹介 本邦最初の「日露年鑑」出づ！……………九三―九三

第三次全国代表大会——国民党の現状を見る……………石川成邸 九四―一〇三

新支那の出現／党と政府との立場／右派の大会切抜策／内訌と左派の活躍／大会の議題／国民政府の今後

海軍競争と国際政策……………高橋清三郎 一〇四―一一一

聯盟の活動<sup>(30)</sup>……………国際聯盟事務局東京支局調 一一二―一一八

最近の聯盟主催会合／アヴノール代理総長の渡支／第五十三回理事会／国際経済統計会議／『平和の建

設者』肖像画集

本協会ニュース（十二月中）……………一九一―一二〇

（日誌）／支部事務所移転／出版／会員

## 資料

米国の外交政策（英文）……………〔※巻末より〕 一―11

フーヴァーの演説／クーリッヂ大統領の演説

英米海軍会議の提唱（英文）……………12―14

# 第九卷三号（一九二九年三月一日）

主張 国際会議開催地としての日本	本協会（奥山）	一―四
主張 不戦条約と海軍拡張	本協会（大熊）	五―八
支那の排日と其対策	吉田虎雄	九―二一
アビシニアを囲る外交問題	法学博士 大山卯次郎	二二―二八
序／伊太利の計画する鉄道布設問題／ツアナ湖の水利問題／経済利益に関する英伊協定／英領地との国境地方に於ける奴隷狩問題		
支那を回る外交戦と对支条約交渉の基点	武内文彬	二九―四二
独逸賠償問題大観	筒井潔	四三―五二
国民政府の現状と我对支政策の基調	浜野末太郎	五三―六六
はしがき／国民政府の成立／国民党の組織と国民政府との関係／国民政府の内容／南京を視察して／我对支政策の基調		
新刊紹介 一九二八年版「英文日本紹介号」／The Log of the Ryoei Maru		六六―六六
南北妥協と楊宇霆横死事件	白井同風	六七―七六
東三省易幟問題／妥協と和平統一／孫文の民族主義／五族統一の大理想／国民革命軍の北伐／第二次北伐と張作霖の帰奉／張学良の和平通電／日本の妥協中止勧告／直魯軍と奉天軍の衝突／張学良国民政府委員となる／妥協成立と易幟／楊常統殺事件		

聯盟の活動(31)……………国際聯盟事務局東京支局調 七七一八三

最近の聯盟主催会合／阿片委員会に於ける支那の声明と日本の抗議／人事二件／各国政府当局者の国際聯盟に関する言論／英仏米主要政党の国際聯盟に対する態度／常設国際司法裁判所出版書類取次販売開始 始

本協会ニュース（一月）…………… 八四一八五

（日誌）／学芸協力委員会／出版／会員

## 資料

支那と列国との新条約（邦文・英文・仏文）……………〔※巻末より〕 1一27

ボリビア・パラグアイ紛争事件（邦文・英文）…………… 28一39

パンアメリカ仲裁調停条約（英文）…………… 40一51

## 第九卷四号（一九二九年四月一日）

主張 第十二回阿片諮問委員会……………本協会（奥山） 一一四

主張 アヴノール氏の訪支使命……………本協会（奥山） 五一六

不戦条約研究上の諸問題……………法学博士 信夫淳平 七一一九

はしがき／『人民の名に於て』の由来／米国に於ける違憲論／『国策の具としての戦争』の意義／戦争の

違法視と非認の異同／消極的制裁の効果／特殊利益地域に関する留保

不戦条約の国際法的觀察(二).....	法学博士 神川彦松	二〇―三五
中日国交の大義に還れ.....	上海東亜同文書院教授 坂本義孝	三六―四三
支那の国軍編遣会議.....	森喬	四四―五六
支那裁兵の歴史／編遣會議の由来／編遣會議の経過／編遣會議の成果／編遣會議後の情勢		
張宗昌の再起.....	園田次郎	五七―六五
国際労働条約と日本の労働立法.....	伊達宗雄	六六―七四
チ国建国後十年間の政情変化.....	在ブラーグ 鈴木福治	七五―八二
新刊紹介 Capitalism, Marxism, and the Japanese National Thought (藤澤親雄)	〇生	八二―八二
.....		
英国保守党の功罪.....	大石利徳	八三―九五
新刊紹介 華府會議と其の後(市橋倭).....		九五―九五
中南米政策の決算期——フーヴァー氏の南米訪問.....	磯部佑治	九六―一〇四
キユーバ投資の進展／運河の統制権／財政安定の維持／軍事的根拠地／対墨関係／フーヴァー氏の南米		
行		
聯盟の活動(32).....	国際聯盟事務局東京支局調	一〇五―一一四
最近の聯盟主催会合／アヴノール氏一行日程／国際聯盟第五十四回理事會議題——三月五日よりジュネ		
ーヴにて／国際聯盟の石炭問題研究／新聞専門家国際會議決議に対するその後の措置／国際聯盟より日		
本その他にラデオ放送		
本協會ニュース(二月中).....		一一五―一一六



第九回聯盟總會採択の「一般規定 General Act」(邦文)……………一―九

不戦条約と米国上院の解釈（英文）……………〔※巻末より〕 1-4

米國議會の海軍拡張並に海洋自由決議（英文）……………4—5

侵略国非援助に関するキャツパー氏決議案（英文）……………619

第九卷五号（一九二九年五月一日）

主張 プラージュ経済会議と聯盟協会経済委員会……………本協会（奥山）

一四

内外人安住の地——東三省に於ける我国の地位……法学博士 松原一雄 五十九

安部誠雄氏著 「海軍軍備制限問題に関する研究」……………Y生 九一九

海軍縮小會議に対する日本の位地態度……………田川大吉郎 一〇—一二

国際聯盟の精神……………法学博士 杉村陽太郎 二三―二八

新刊紹介 THE LEAGUE OF NATIONS. . . . . 一八一—一八

合衆国の国際司法裁判所加入問題の展望……………横田喜三郎 二九—四一

支那の自力改造は如何——ケメラ—顧問団の渡来……………神尾茂 四二—五〇

露共産党、第三インターナショナル及ソエート政府の関係……花岡止郎 五一―六五

ユーゴスラヴィアの政変に付て……………	三谷隆信	六六―七五
英国選挙戦の目標——失業救済と産業振興策……………	森田久	七六―八七
選挙戦の中心目標／自由党の新政策／労働党のナショナル・レビュー／保守党の保護政策／何れが民心を掴むか……………		
独裁政治は何時まで続くか——西班牙と伊太利の現状……………	柳沢慎之助	八八―九六
国民党現実の姿……………	松本鎗吉	九七―一〇五
国際聯盟協会通常総会〔※招集通知〕……………	国際聯盟協会	一〇五―一〇五
聯盟の活動 <sup>(33)</sup> ……………	国際聯盟事務局東京支局調	一〇六―一一四
最近の聯盟主催会合／第五十四回聯盟理事会の成績——三月四日―九日／新聞会議の決議に対する日本……………		
其他二ヶ国政府の措置／国際聯盟主催通貨偽造防止に関する国際会議——四月九日ジュネーヴに於て／……………		
国際聯盟の石炭問題の其後——二月二十七日より三月二日／第六回聯盟軍縮準備委員会会合／雜録……………		一一五―一一六
本協会ニュース（三月中）……………		
（日誌）／学芸協力委員会／出版／会員……………		
資料……………		
濟南事件解決協定全文（邦文）……………		一一二
米国の国際司法裁判所加入要請（英文）……………	〔※巻末より〕	一―四
米国新大統領の就任演説（英文）……………		五―七
イタリーの選挙法及びファシスト大評議会法（仏文）……………		八―一五

## 第九卷六号（一九二九年六月一日）

懸賞論文募集——当選者四名に支那旅行（南京、上海、蘇州、杭州の視察並に遊覧）

社団法人 国際聯盟協會

卷 頭

主張 外国領海に於ける我水産業

本協会（奥山）

一―四

第二軍縮前記

田川大吉郎

五一―一五

蒋介石は何処へ行く

長野朗

一六―二五

印度の憲法改正運動

嶋谷亮輔

二六―三五

民族主義と蒙古諸族

西山栄久

三六―四六

緒言／バルガ即ち呼倫貝爾の民族運動／外蒙及び内蒙の民族運動／蒙古人の対日本感情

四六―四六

新刊紹介 黎明の南洋（井手諦一郎著）

四六―四六

アフガンの反動革命

堀敏一

四七―五五

素面洋装の皇后／山間回教国の諸相／国王の諸改革／反動より叛乱へ／新興国の行方／反動と英露

五五―五五

ロシア最近の貿易政策

大平進一

五六―六五

ロシア貿易数字の興味／国家の統制方針と実際／踏襲せられる保護関税政策／産業政策に基づく出超主義

六五―六五

／対消費と船舶行政の關係

六五―六五

新刊紹介 *The World's Religions against War*, published by The Church Peace Union, Paris, 1928.

六五―六五

断交後の英露関係……………広岡光治 六六一七六

両国関係改善の徴／通商上に及ぼした断交の悪影響／断交の及ぼした直接影響／英露通商の将来／ロシ

アの外国貿易独占制度と工業諸国の態度

新刊紹介 不戦条約中「人民の名に於て」の問題（美濃部達吉編）……………七六一七六

米国憲法の歴史的精神……………法学博士 大山卯次郎 七七一七三

植民及建国時代の政治組織／革命の動機／民主主義の発達／各植民地及各州間の関係／聯盟組織の不成

功／合衆国憲法会議及同憲法の特質／合衆国憲法修正及其運用

聯盟の活動<sup>34</sup>)……………国際聯盟事務局東京支局調 九四一—一〇五

最近の聯盟主催会合／被侵略国に対する財政援助に関する条約案（資料参照）——一九二九年三月聯盟

理事会採択／新聞専門家会議の決議に対するベルギー及び濠洲両国政府の回答／一九二八年に於ける世

界経済情勢／雑録

本協会ニュース（四月中）……………一〇六一—一〇九

（日誌）／学芸協力委員会／グロスター公殿下と本協会献上品／本協会第九回通常総会／出版／会員

## 資料

南京漢口両事件解決交換公文書（邦文）……………一一四

財政援助条約案（英文）……………〔※巻末より〕 一一四 24

## 第九卷七号（一九二九年七月一日）

主張 日支通商条約改訂交渉を前にして……………	本協会（奥山）	一―五
英国労働内閣と軍縮問題——シンガポール海軍根拠地問題如何……………		
……………	法学博士 米田実	六一―三
日支条約改訂と治外法権問題……………	法学博士 信夫淳平	一四―二三
支那の治外法権撤廃運動／支那司法制度調査会の報告／支那法制の現状／我國の執るべき態度……………	経済学博士 木村増太郎	二四―三二
日支新条約の根本方針……………	横田喜三郎	三三―三九
合衆国の国際司法裁判所加入問題の展望(二)……………	法学博士 和田禎純	四〇―五一
黎明期に進出せるメキシコ共和国を観る……………	青木節一	五二―六八
聯盟第六回軍縮委員会記……………		
委員会開会前の空氣／討論のプログラム／労農軍縮案遂に否決さる／軍事公表に関するドイツ案／米國態度を声明す／化学戰の討議／空軍問題に移る／予備兵問題について米國再び声明／徴兵制度廢止に関する支那提案／兵員問題に還る／軍用器材の縮少／海軍問題延期／結語……………	伊藤龜雄	六九―七七
英国の総選挙を顧みて……………		
最初の婦人大臣／反動時代去る／内閣の法定任期／政治的破産者／さすがはイギリス／面白い顔触れ／伝統と新味……………		
新刊紹介 法学博士末広重雄著 支那の対外的國民運動……………		七七―七七

軍縮の前途に曙光見ゆ……………	松下芳男	七八―八六
新刊紹介 Shuntaro Matsusita, <i>Economic Effects of Public Debts</i> , New York, Columbia University Press, 1929.		
………		八六―八六
英国労働党の対露政策……………	三島泰雄	八七―九六
独裁政治下の西班牙……………	塩津誠作	九七―一〇二
旧式政治の欠陥を暴露／国内不安の主因は何か／教育の拡張と保護関税／愛国聯合と社会党だけ／宗教と教育の反動関係／金本位設定船運業復興／独裁政治功過の判断		
支那革命の悩み——蔣馮関係と将来の支那……………	石川成邱	一〇三―一二二
混乱の時局／蔣馮の關係／馮の立場／蔣の立場／今後の馮／国民政府はどうなる		
聯盟の活動 <sup>(35)</sup> ……………	国際聯盟事務局東京支局調	一一三―一二二
最近の聯盟主催会合／第五十五回聯盟理事會議題／第十回聯盟總會仮議題——九月二日（月）午前十一時ジユネーヴに於て開催／國際司法裁判所に対する米國加入問題——法律家委員會の研究／婦女禁売と兒童福祉／聯盟の事業へ寄附金／雜録		
本協會ニュース（五月中）……………		一二三―一二五
（日誌）／学芸協力委員會／出版／會員／支那旅行懸賞論文募集に就て（國際聯盟協會）		
資料		
露独調停条約（独文）……………		〔※卷末より〕 1―4
米國の世界法廷加入に関する議定書案（英文）……………		5―16
支那の領事裁判權撤廢要求（英文）……………		17―19

## 第九卷八号（一九二九年八月一日）

弔詞（※添田寿一博士に対するもの）	本協合理事会	一一一
主張 専門家会議か政治家会議か	本協会（奥山）	二一五
海軍縮少会議の一側面	田川大吉郎	六一七
第二回國際聯盟經濟諮問委員会に就て	特命全權公使 川島信太郎	一八二六
一九二八年中に於ける各国經濟政策の概観／通商問題／工業問題／農業問題／國際平和に影響する經濟的問題／金の購買力問題／二重課税及脱税問題／各種國際經濟団体の事業／千九百二十八年に於ける各国經濟狀態		
華府會議に於ける滿洲問題	蠟山政道	二七一四一
華府會議の歴史的意義／今秋の太平洋問題會議への参考／華府會議に現はれたる滿洲問題／會議の原則問題と其の後の趨勢		
日支条約改訂と内河航行權問題	經濟學博士 寺島成信	四二一五〇
内河航行權の起源及由来／揚子江に於ける列國航運戰 附・日清汽船会社の現状／本問題の解決如何		
支那の排日運動対策	小川節	五一一六〇
現下の軍縮問題を直視して——難関とその打開策	石丸藤太	六一一七三
樂觀と悲観／海上の絶対優越と同等とが英米衝突の真因／米國の新軍縮案は英國の手を逆用したもの／英國以上の海軍力を得んとする米案／英米の妥協案／日英米の三国交渉とせよ		

国民党第二回中央執行委員全体会議……………

森喬

七四―八二

全体会議とは何か／今回の会議の使命／全体会議の経過／結び

創始十週年の労働總會……………

浅利順四郎

八三―九二

滿十年の生存／幸先を寿ぐ盛会／マクトナルド首相の祝電／持出された野田岡谷の争議／正式議題の諸

事項／強制労働と監獄部屋／採択せられた条約案、勧告及質問書／可決せられた諸決議／不知其仁也

東鉄事件と日米露支の交互関係……………

大竹博吉

九三―九八

新刊紹介 ソヴェト外交十年史（エム・タニン著 広岡光治・大竹博吉共訳）／謎の蒙古（石塚忠著）

…………… 九八―九八

自由党の将来——隋力的存在の現実的意義……………

早坂二郎

九九―一〇八

歴史的使命を終れる政党／決定票を握る自由党／労働、自由両党の岐れ目／自由党は何を為させるか？

／政治的悲劇と社会的童話劇……………

日露漁業問題紛糾経緯……………

茂森唯士

一〇九―一二四

概観／出漁条件発表後の紛糾／漁区競売不参加問題／露国側の態度と主張／四月五日の漁区競売／宇田

氏放棄漁区の対露交渉／国営要望漁区問題／露人競落漁区讓受問題／自由出漁問題／其他の交渉案件

聯盟の活動(36)……………

国際聯盟事務局東京支局調

一二五―一三二

最近の聯盟主催会合／第五十五回理事会——六月十日―十五日マドリッドにて／極東阿片事情調査委員

来る／通過移民票に関する国際會議／新聞専門家會議に対する国際聯盟の其の後の措置／紛争の平和的

解決条約／二つの新委員会／一九二八―二九年軍備年鑑新刊さる／雑録

本協會ニュース（六月中）……………

一三二―一三四



(日誌)／学芸協力委員会／出版／会員

## 資料

賠償専門家委員会報告(英文)

〔※巻末より〕 1-15

国際聯盟映画筋書懸賞募集

国際聯盟協会

裏表紙裏

## 第九卷九号(一九二九年九月一日)

主張 露支紛争観

本協会(奥山)

一-四

軍縮の為に新国防会議を興せ

法学博士 山川端夫

五-一七

国際聯盟の軍縮會議を提唱す

古垣鉄郎

一八-二八

次の軍縮會議の重大性

尾崎剛

二九-三八

ヤング案果して最終解決か

山崎靖純

三九-四五

英米関係と海洋自由問題

横山秀三郎

四六-五九

東支鉄道をめぐる露支紛争

白井同風

六〇-六八

東支鉄道の重要性／ハルピン労働領事館事件／支那の積極行動とロシアの態度／米国の対露支注意喚起

／露支直接交渉

新刊紹介 戦争と硬貨(上山満之進著)

六八-六八

支那の租界及開商場問題

長野勲

六九-八〇

社会主義を離れた労働党……………大石利徳 八一―八九

仏国の金解禁経緯……………久我貞三郎 九〇―一〇八

一九一四年の財政状態／戦時の財政状態／仏蘭西銀行の政府貸出金／インフレーションと為替／仏蘭西銀行への償還／一九二四年五月十一日の選挙の結果／ポアンカレ氏／減債基金／仏蘭西銀行に対する政府借入金／経営及経済的改革／安定と価格の釣り上げ／予算の改善と一九二七年の予算／金解禁／幣制改革

委任統治地域の主権帰属問題……………真鍋藤治 一〇九―一一八

聯盟の活動<sup>37)</sup>……………国際聯盟事務局東京支局調 一一九―一二四

最近の聯盟主催会合／学芸の国際協力／聯盟に関する教育／新会館設計の決定／雑録／新刊書／聯盟刊行の各種年鑑類

本協会ニュース（七月中）……………一二五―一二六

（日誌）／学芸協力委員会／出版／会員

## 資料

露支紛争関係諸協定並に附属文書（邦文）……………一―一三

国際聯盟映画筋書懸賞募集……………国際聯盟協会 卷末

## 第九卷一〇号（一九二九年一〇月一日）

主張 海牙賠償會議終る……………	本協会（奥山）	一四
露支紛争と太平洋平和機関……………	法学博士 松原一雄	五一—五
賠償會議に於ける英国の論拠……………	永井万助	一六—二一
海牙賠償會議の成功……………	深沢甲子男	二二—三三
ヤング案の公式討議／會議に投じた英国代表の爆弾／決裂の危機から解決へ／國際決済銀行の設立へ／		
暫定的なヤング案／問題はこれからである		
羅馬法王の新地位……………	柳沢慎之助	三四—四〇
イエルサレムに於ける民族運動の由来……………	内藤智秀	四一—四八
新奧太利最近の政情……………	御厨信市	四九—六八
新奧太利の政治組織／奧国の政党分野／奧国の政変／郷土防禦団と共和擁護団との対抗／独逸合併問題		
南京の編遣會議——裁兵問題の一考察……………	松本鎗吉	六九—七七
最近支那の政情……………	千原楠藏	七八—八六
東鉄問題管見……………	富士辰馬	八七—九三
第二インターナショナルの軍縮綱領……………	吉川末次郎	九四—九九
新刊紹介 「國際聯盟に於ける砂糖問題」 水田栄雄訳／「支那語解剖学」 西成甫博士原著・張方慶訳		九九—九九

国際聯盟と米国……………	ドクトル・オブ・フィロソフィー 松下正寿	一〇〇—一〇七
聯盟の活動 <sup>(38)</sup> ……………	国際聯盟事務局東京支局調	一〇八一—一九
最近の聯盟主催会合／經濟委員會の会合／学芸の国際協力／雑録／最近の聯盟出版物／第十回国際聯盟 總會日報——附・第五十六回聯盟理事会		
本協会ニュース（八月中）……………		一二〇—一二一
（日誌）／学芸協力委員會／出版／會員		
資料		
不戰条約の発効とフーヴァー氏の演説（英文）……………	〔※卷末より〕	1—4
海軍々縮に関するマクドナルド首相の演説（英文）……………		4—6
フーヴァー大統領の応酬（英文）……………		7—7
治外法權撤廢に関する米国の対支回答（英文）……………		8—12

## 第九卷一一号（一九二九年一月一日）

主張 英国首相の訪米……………	本協会（奥山）	一—四
第二軍縮會議前記……………	田川大吉利	五—四
次の軍縮會議へ……………	石丸藤太	一五—二七
次の軍縮會議の性質／英米海軍協定の内容／次の軍縮會議に於ける五大海軍国の主張／軍縮會議の難関		

／軍縮思想の逆転／不戦条約の精神を活せ

国際社会本質の考察……………

藤沢親雄

二八―四三

国際強制裁判の展望——裁判所規程任意条項の受諾問題……………

横田喜三郎

四四―五三

学芸協力国内委員代表者会議の概況……………

日本代表 法学博士 山田三良

五四―六五

国内委員代表者会議の参列者／開会の主旨と学芸協力機関の改造論／国内委員会の組織並に活動に関する報告と提案／国内委員会代表者会議に於ける決議／日本美術年鑑に対する称賛

米国防税改正と欧洲經濟聯盟……………

若松虎雄

六六―七九

米国防税改正と欧洲經濟聯盟／米国防税改正の動機／特別議會召集／関税改正法案の上院へ回付／関税

改正に対する内外の反対輿論／欧洲經濟聯盟問題の擡頭／欧洲經濟聯盟成立可能性の有無

反蔣聯盟の実体……………

長野朗

八〇―八八

新刊紹介 寿府三国会議と其後（堀川淳一郎著）……………

八八―八八

最近支那を觀る——反蔣同盟由来と支那政局の将来……………

西山栄久

八九―九六

新刊紹介 太平洋問題（米田実博士著）……………

九六―九六

露支紛争と独逸の仲介……………

芹沢真一

九七―一〇四

聯盟の活動(39)……………

國際聯盟事務局東京支局調

一〇五―一一三

最近の聯盟主催会合／聯盟事務次長杉村博士帰朝／生皮、獸骨の通商自由／応訴義務受諾国／輸出入禁止制限撤廢条約の批准／オーストリアに於ける國際聯盟教育——オーストリア政府の回答／聯盟会館定礎式と裝飾寄贈受付／米国防税改正／米国防税改正法案の刊行／雜録／第十回國際聯盟總會日報（続）——附・五十七回聯盟理事会／總會關係書類

本協会ニュース（九月中）……………一一四―一一五

（日誌）／学芸協力委員会／出版／会員

## 資料

英埃条約案（英文）……………〔※巻末より〕 1―13

白支天津租界還付協定（英文）…………… 14―18

支那の対米法権撤回第二次要請（英文）…………… 18―22

## 第九卷一二号（一九二九年二月一日）

主張 好機来る……………本協会（奥山） 一―四

第十回国際聯盟総会所感……………法学博士 杉村陽太郎 五―一三

国際政局の安定／大立者／仲裁裁判／汎欧洲聯合／世界相／時代は進む

汎米主義とは何ぞや……………法学博士 大山卯次郎 一四―二八

序説／モノロー主義と汎米主義との関係／汎米會議の由来と其事業／汎米協會の組織と其職務／米国指

導の仲裁々判

海軍軍縮問題英米予備協定批判……………安富正造 二九―三八

批判の標準尺／協定の基礎と政治的条項／主力艦問題／巡洋艦問題／驅逐艦及潜水艦に就て

倫敦海軍會議と海洋自由……………高橋清三郎 三九―四四

仏国の政変……………町田襄治 四五―五二

ポアンカレ内閣の倒壊／ブリヤン内閣の成立より倒壊まで／タルヂュー内閣の成立／新内閣の内政事情

／新内閣の外交政策／タルヂュー新首相の人物

太平洋会議と満蒙問題……………長野朗 五三―五八

紛争渦中の支那——蔣馮関係を中心に……………石川成郎 五九―六八

反蔣運動の実体／武装移民の原因／蔣馮の対峙／閻錫山の立場／今後どう展開する

革命メキシコの帰趨を見る……………磯部佑治 六九―七七

平時封鎖史考……………山本三吾 七八―九一

平時封鎖思想の発生と初期の事件／主要時代／批判時代／総括的分類

聯盟の活動(40)……………国際聯盟事務局東京支局調 九二―一〇四

最近の聯盟主催会合／第十回国際聯盟総会の経済的業績／条約の登録・批准／ラヂオ放送の成績／雑録

／聯盟出版物の包括予約制度

本協会ニュース(十月中)……………一〇五―一〇六

(日誌)／学芸協力委員会／出版／会員

## 資料

国際経済問題に関する国際聯盟協会常設経済委員会の決議(邦文)……………一一―一一

# 第一〇卷一号（一九三〇年一月一日）

主張 第三太平洋會議を終りて……………	本協会（奥山）	一―四
国際平和に関する世界の大勢……………	外務大臣・男爵 幣原喜重郎	五―一二
ロンドン會議に直面して……………	田川大吉郎	一三―二四
太平洋會議に於ける領事裁判権撤廃問題……………	法学博士 末広重雄	二五―三三
京都會議に於ける太平洋外交關係問題……………	法学博士 松原一雄	三四―三九
急轉の支那形勢……………	法学博士 米田実	四〇―四九
支那政局縦断觀——蒋介石氏を中心として……………	森喬	五〇―六〇
はしがき／辛亥革命から北伐出發迄／南京政府樹立と蔣氏の下野／蔣氏の復活から北伐政府完成へ／蔣氏の国民政府主席就任以後……………		
旧露西亞の国債……………	花岡止郎	六一―七一
大戦と三大債務問題／旧露西亞の国債額／ポリシエビキ政府の国債廢棄／ポリシエビキ政府の国債廢棄と列国の態度／旧露国債權及債務問題の現状／旧露国々債問題解決の要件……………		
最近露国外交政策の展望……………	林暢夫	七二―七九
露国外交政策の基調／対欧政策／対東洋政策／対米關係……………		
新刊紹介 ロシヤ大革命史譚選輯「露帝と独帝の往復書翰」大竹博吉監輯……………		七九―七九
委任統治の現状……………	法学博士 泉哲	八〇―八七



新刊紹介 在満鮮人論策（赤塚正朝著）……………八七―八七

中国国民党と南洋華僑……………山口慎一 八八―九三

聯盟の活動(41)……………国際聯盟事務局東京支局調 九四―九七

最近の聯盟主催会合／関税休日協定の条約予備草案／阿片中央委員会——第三回会合／フィンランド政

府一般議定書に加盟／オランダ政府暦改正委員会を設立／刑罰行政の革新問題／手形法統一会議を延期

／雜録

本協会ニュース（十一月）……………九八一―一〇一

（日誌）／出版／会員／学芸協力委員会

資料

関税休日に関する条約案（英文）……………〔※卷末より〕 一―10

## 第一〇卷二号（一九三〇年二月一日）

主張 倫敦會議と仏国……………本協会（奥山） 一―五

関税休戦条約案に対する主張——本協会經濟委員會の決議……………本協会 六―九

支那に於ける日本の特殊利益……………子爵 石井菊次郎 一〇―三〇

日本の特殊利益の由来／日米共同宣言／日米共同宣言の廃止と我特殊利益

支那に遊ぶ……………聯盟事務次長・法学博士 杉村陽太郎 三一―三四

目前に迫る倫敦會議……………	経済学博士 寺島成信	三五―四二
緒言／国防觀念／国論の統一と後援／五国の態度／結言		
海洋自由問題を提議せよ……………	尾崎剛	四三―五二
海洋の自由に関する一考察……………	前原光雄	五三―六一
仏領印度支那の関税制度と对本邦通商關係……………	菱沼勇	六二―六九
仏領印度支那の関税制度の概要／仏領印度と本邦との通商關係／最近の関税引上の我輸出貿易に及ぼせる影響		
支那の新利権航空路に就て……………	柏田忠一	七〇―七七
国民党とは何ぞや——蔣介石の立場と汪兆銘除名……………	松本鎗吉	七八―八四
新刊紹介 倫敦軍縮會議へ（石丸藤太著）……………		八四―八四
米国の対滿經濟進出……………	引田哲一郎	八五―九一
英国の新印度政策……………	柳沢慎之助	九二―九八
露国外交政策の裏面……………	塩津誠作	九九―一〇八
スターリンの独り天下／世界革命の夢を捨てず／独逸と支那の革命煽動／労農外交部の特殊位置／日露非侵略条約の失敗		
所謂宣伝禁止問題——英国二派の態度……………	三島泰雄	一〇九―一一六
露支紛争の解決……………	大西秀治	一一七―一二五
聯盟の活動(42)……………	国際聯盟事務局東京支局調	一二六―一三三
最近の聯盟主催会合／第五十八回理事會議題——一月十三日ジュネーヴにて／新聞輸送會議の経過／教		

育映画の関税免除条約案／阿片會議開催の延期——英国政府の提案／保健部東洋支局諮問委員会／保健部の活動／米国と国際司法裁判所／雑報

本協会ニュース（十二月中）……………一三三—一三四

（日誌）／学芸協力委員会／出版／会員

## 資料

英露復交議定書（英文）……………〔※巻末より〕 1—3

食糧船不可侵に関するフーヴァー大統領の演説（英文）…………… 3—5

国際平和に関するスマッツ氏の提唱（英文）…………… 6—9

## 第一〇巻三号（一九三〇年三月一日）

主張 台湾に於ける阿片吸食特許問題……………本協会（奥山） 一—四

国際関係処理の法的進出と法典編纂の気運……………特命全權大使・法学博士 松田道一 五—二二

国際法典編纂に関する前世紀以来の傾向と最近の発展／汎亜米利加聯合の運動／国際聯盟に於て編纂の

計画を立つるに至りしまでの経路——附・海牙第一回国際會議の準備／漸進的国際法典編纂専門家委員

会の事業／余録

海軍軍縮會議の矛盾性……………岡本鶴松 一三—一三一

軍縮會議開かる——米国提案の画く波紋……………石丸藤太 三三—四七

軍縮の史的展望……………	佐藤忠雄	四八―六〇
緒言／海牙会議以外の軍備制限／海牙平和會議／世界大戰中の軍縮論／大戰直後の軍縮問題／華府會議 ／國際聯盟の軍縮事業／ジュネーブ海軍々縮會議／英仏軍備協定／不戰條約／ロンドン會議へ 軍縮問題と聯盟に対する疑惑……………	松下正寿	六一―六八
新刊紹介 JAPAN IN THE LEAGUE OF NATIONS (立教大学教授 松下正寿氏著) ……………	古垣鉄郎	六八―六八
國際法より見たる聯盟加入問題(一)……………	町田襄治	六九―七八
聯盟規約と國際法／聯盟国の種類及び性質／加盟の形式的条件……………	岡光治	七九―八四
フアシストの經濟政策……………	大山卯次郎	八五―九四
露国の經濟建直し……………	岡野一朗	九五―一〇一
序／反ソヴェト人民の反抗／五ヶ年計画／共産党内の意見の対立／初年度の実績……………	武内文彬	一一二―一一二
關稅休戰會議に就て……………	小川節	一一三―一二一
會議以前の史実／國際經濟會議の決議／議案の要領／吾国の地位／吾国と不参加国との關係……………	國際聯盟事務局東京支局調	一二二―一二二
銀価暴落と支那海關稅金建問題……………	國際聯盟に於ける人口問題／雜錄	一三三―一四一
支那國民政府の財政と幣制改革……………		一四二―一四二
葫蘆島築港問題と日本……………		
聯盟の活動(43)……………		
最近の聯盟主催會合／關稅休日會議參加國／第五十八回聯盟理事會／國際聯盟に於ける人口問題／雜錄 本協會ニュース(一月中)……………		
(日誌)／學芸協力委員會／出版／會員……………		

## 資料

治外法権撤廃に関する英支交渉並に南京政府の一方宣言（英文）……………〔※卷末より〕 1—3

## 第一〇卷四号（一九三〇年四月一日）

主張 奉天会戦二十五周年所感……………	本協会（奥山）	一—四
印度綿布関税引上問題に関する決議——三月七日の本協会第十四回常設経済委員会採択……………		五—五
軍縮に関する国際聯盟協会宗教（神道、仏教、基督教）委員会決議……………		五—五
——三月十七日第二回本協会宗教委員会総会にて採択……………		五—五
現代世界の国体と政体（一）……………	経済学博士 永井亨	六—一四
はしがき／国体と政体の別／現代世界の国体……………		
伊太利最近の事情……………	特命全權大使・法学博士 松田道一	一五—二九
緒言——伊太利の政情の一斑／内政改革の大要／ファシストの政治方針／伊太利対外関係並対国際聯盟態度……………		
日支通商条約の改訂に際して……………	経済学博士 木村増太郎	三〇—三七
特權主義より平等主義へ——我对支政策の要諦は自強策の外なし……………		
……………	長野勲	三八—四五
……………	桜井重義	四六—五七
治外法権撤廃問題経過と現況……………		

支那の対外交渉……………	石川成邸	五八―六八
内政より外政へ／治外法権の撤廃／列国の態度如何／関税自主の確立／日支交渉の前途		
相対的安全保障の価値……………	三枝茂智	六九―八九
論題の意義／安全保障の必要／事実上の安全と安全の保障／狭義及広義に於ける安全保障条約／安全保障協定の分類／準絶対的安全保障／絶対的安全保障／相対的安全保障／結言		
日露関係の発展行程……………	茂森唯士	九〇―九九
第一期の決算報告／政治的關係／經濟關係／文化關係／結論		
米国の極東經濟政策……………	大平進一	一〇〇―一〇八
国際法より見たる聯盟加入問題(二)……………	古垣鉄郎	一〇九―一一九
加盟の實質的条件／聯盟加入の法的效果		
関税問題に於ける国際的行動……………	牧内正男	一二〇―一二六
新刊紹介 A JAPANESE-ENGLISH DICTIONARY by Hiraoka-Tomokazu & Suzuki-Waiti. ……		一二六―一二六
聯盟の活動(44)……………	国際聯盟事務局東京支局調	一二七―一三〇
最近の聯盟主催会合／一九二九年に於ける紛争平和的处理の發達／関税休日會議——二月十七日より開催／手形法統一國際會議の開催——五月十三日より開催／選択条項に英国政府批准／雜録		
本協会ニュース(二月中)……………		一三一―一三二
(日誌)／出版／會員／國際聯盟十周年記念放送——主催 國際聯盟協會・東京中央放送局		
資料		
常設國際司法裁判所規程選択条項受諾国(一九二九年二月五日現在)(邦文)……………		一四

応訴義務の受諾と其の留保（英文）……………〔※巻末より〕 116

## 第一〇巻五号（一九三〇年五月一日）

主張 対支貿易に関する考察……………	本協会（奥山）……………	一―四
現代世界の国体と政体（一）……………	経済学博士 永井亨……………	五―一二
現代世界の政体／結論……………	田川大吉郎……………	一三―二五
倫敦会議を顧みて……………	松下芳男……………	二六―三〇
三国協定案の財政的影響……………	森田久……………	三一―三八
国際決済銀行の内容……………	法学博士 芦田均……………	三九―四九
バルカンの現状（一）……………	……………	四九―四九
国際聯盟協会第十回通常総会〔※告知〕……………	……………	五〇―五八
混頓状態裡の西班牙……………	塩津誠作……………	五〇―五八
独裁政治漸次崩壊の兆／執政没落と帝位の安否／政局安定は容易でない／前途混沌免れ難き模様／皇帝裏面の政治的躍動／海軍の反感が目立つた／絶対沈黙と政党の引率／皇帝執政に復讐したか／広範囲の大赦に好感／共和運動抑圧し得るか……………	……………	五九―六七
英国労働党内閣の対エジプト政策……………	軽部秀治……………	五九―六七
エーメンと称するアラビヤ半島に在る独立国に就いて……………	黒木時太郎……………	六八―七一

印度綿布関税の引上……………深沢甲子男 七二—八一

インド市場に於ける日英紡績戦／インド綿布関税の引上げ案／英印両政府へ抗議／インド会議を通して／我が生地綿布には致命的打撃／我が紡績業の合理化を促進

日支関税協定の成立に就て……………上林正矩 八二—八九

日支関税協定の成立／新協定の内容／互惠協定の品目／互惠品目に漏れたる重要品／新協定に対する両国の批評

国際法に於けるブリティシユ・コモンウェルス・オヴ・ネーションズ

……………田岡良一 九〇—一一七

序説／BCNの構成／国際聯盟外に於けるBCN／国際聯盟内に於けるBCN／結論

聯盟の活動(45)……………国際聯盟事務局東京支局調 一一八—一二五

最近の聯盟主催会合／国際聯盟規約改正問題——不戦条約との調和／阿片委員会第十三回会合／沿岸貿易の定義調査——日本政府の提案／保健部東洋支局第五回諮問委員会／雑録

本協会ニュース(三月中)……………一二六—一二七

(日誌)／学芸協力委員会／出版／会員

## 資料

国際聯盟規約改正案(英文)……………〔※巻末より〕 一—三



## 第一〇卷六号（一九三〇年六月一日）

主張 倫敦會議を顧みて……………	本協会（奥山）……………	一―四
本協会第十回通常総会に於て採択された宣言及決議……………	……………	五―六
倫敦會議終結に就ての宣言／日米両国間に調停及仲裁々判条約締結に関する決議／常設国際司法裁判所 応訴義務受諾に関する決議……………	……………	七―一七
国際聯盟の発達は健全なりや……………	法学博士 安達峰一郎……………	一八―二五
ロンドン會議と日英米……………	法学博士 杉村陽太郎……………	二六―三六
倫敦軍縮會議に醒めよ——根本問題は我が軍縮対策の拙劣……………	……石丸藤太……………	三七―四五
倫敦海軍會議は成功なりや……………	松下芳男……………	四六―五三
倫敦會議と新国際均勢……………	板倉進……………	五四―六三
バルカンの現状(二)……………	法学博士 芦田均……………	六四―七六
宰相シヨーパーの塙国改造事業——組合国家主義の一勝利……………	……御厨信市……………	七―一八五
はしがき／塙国に於ける政党亡国の嘆／共和擁護団と郷土防禦団の闘争／憲法改正論の擡頭とストレー ルウィッツ内閣の辭職／シヨーパー内閣の成立と憲法改正事業／塙国憲法改正の要点／組合国家主義の 一勝利／結言……………	……………	七―一八五
米国の失業洪水……………	堀敏一……………	七―一八五
共産党の示威／米国の失業群／各国との比較／大失業群の原因／新産業革命／米国の失業対策……………	……………	七―一八五

英国労働内閣の社会的意義	八六一九二
支那在野輿論の傾向	九三一〇〇
緒言／反国民党的輿論／支那改造に關する方法如何／帰結	
反蔣運動の社会性	一〇一—一〇八
支那政局の側面觀	一〇九—一一八
新刊紹介 木下乙市君著 アメリカの産業合理化運動を觀る	一一八—一二四
聯盟の活動 <sup>(46)</sup>	一一九—一二四
最近の聯盟主催会合／國際聯盟第五十九回理事会の議題／國際法典編纂會議の收穫／安全保障委員會の成果——軍縮準備委員會開催日決定／公娼廃止と衛生問題——婦女売買委員會の討議／各種條約の署名及び批准	
本協會ニュース（四月中）	一二五—一二七
（日誌）／第十回本協會通常總會／学芸協力委員會／出版／會員資料	
關稅休戰條約（英文）	〔※卷末より〕 1—11

## 第一〇卷七号（一九三〇年七月一日）

主張 補助艦協定に取殘されたる仏伊	本協會（奥山）	一—四
-------------------	---------	-----

所謂選択条項に就て……………	法学博士 松原一雄	五一―三
ロンドン会議の後に……………	田川大吉郎	一四―二三
内部から見た倫敦会議……………	横田喜三郎	二四―三四
海軍協定に伴へる我が国防問題……………	安富正造	三五―五一
政府と軍令部の確執／請訓と回訓——政治的解決／統帥権問題／国防不安問題……………	法学博士 大山卯次郎	五二―五九
英領東アフリカ聯邦問題の近状に就て……………	柳沢慎之助	六〇―六八
印度の独立運動と英国……………	茂森唯士	六九―七八
英露関係の動き……………		
緒言／初期の初段階／復交から断交へ／断交は何を齎らしたか／労働党組閣と復交の復活／新国交の動因と通商関係／暫定通商条約成る／結論……………		七八―七八
新刊紹介 スターリン著・茂森唯士訳「サヴェート国家の現勢」……………	桜井重義	七九―八六
以党馭軍論と約法論……………		
法治へ進む反対派／以党馭軍論／汪兆銘氏の約法論／現国民政府の弱点……………		八六―八六
新刊紹介 子爵石井菊次郎氏著「外交余録」……………		八七―九一
支那の農村・農民の状態……………	山口慎一	九二―一〇〇
世界的低金利と景気問題……………	森本宋	一〇〇―一〇〇
新刊紹介 富士辰馬氏訳 アメリカは如何に日本と戦ふか？……………		一〇一―一〇六
聯盟の活動(47)……………	国際聯盟事務局東京支局調	一〇一―一〇六
最近の聯盟主催会合／第五十九回理事会の経過／理事会決定の人事／船籍に関する調査——各国政府に		

問合す／雜録

本協会ニュース（五月中）……………一〇七一〇九

（日誌）／出版／会員

資料

欧羅巴聯合に関する仏国政府覚書（要綱・仏文）〔※全文は九月号に掲載〕……………〔※卷末より〕 1—4

一九三〇年の倫敦海軍条約（英文）……………5—28

## 第二〇卷八号（一九三〇年八月一日）

国際聯盟問題 懸賞論文募集……………国際聯盟協会 卷頭

主張 欧洲聯合案……………本協会（奥山） 一—五

本協会仲裁裁判委員会決議……………本協会 六一—〇

応訴義務受諾に関する決議／国際紛争平和的処理の促進に関する決議

ブリアンのヨーロッパ協調論と欧洲各国の輿論……………法学博士 杉村陽太郎 一—二九

汎欧羅巴聯合論（一）……………鹿島守之助 三〇—四二

はしがき／「ブリアン」外相の覚書／欧洲聯合の輪廓／「ブリアン」外相ノ諮問事項／「クーデンホーヘ」

の汎欧羅巴運動と彼の欧洲聯邦案

最近ソヴィエト聯邦事情……………酒匂秀一 四三—六八

新刊紹介 酒匂秀一氏著 ロシヤはどうなる？解剖されたソヴェエト聯邦……………	六八一六八
支那時局の大観……………	長野朗
……………	六九一七四
国際法の法典化——第一回国際法典編纂会議の成果……………	青木節一
……………	七五—八六
法典会議の沿革／会議に於ける討議の材料／会議の成果／会議の結果に対する聯盟の措置	
独立労働党の反抗……………	大石利徳
……………	八七—九七
新刊紹介 仏文邦書解題書目……………	九七一—九七
……………	九八一—一〇七
各国産業合理化と労働者……………	広岡光治
……………	
合理化礼讃と幻滅／各国の失業者の状況／労働の強度の増大／労働者の死傷事故と懼病／労働者構成成分	
子の変化／労働問題／労働争議の傾向……………	一〇八一—一一五
第二インターナショナルの殖民政策……………	吉川末次郎
……………	
序言／第二インターナショナルは殖民政策を斯く見る／資本主義浸透の段階としての殖民地の分類／進	
歩せる殖民地に対する政策／中度文化を有する殖民地に対する政策／原始文化を有する殖民地対策／一	
般原則並に国際聯盟の委任統治に就て……………	一一五一—一一五
新刊紹介 ソヴェト経済建設五ヶ年計画……………	一一六一—一二〇
……………	
聯盟の活動(48)……………	
……………	
最近の聯盟主催会合／高松宮、同妃両殿下——聯盟事務局御訪問／第十一回聯盟総会招集——會議と議	
題／為替手形法統一會議——三條約を採択／聯盟の無電台／司法裁判所に関するフィerland案審議／	
選択条項批准国二十七／國際紛争平和的处理——ノールウエー加入／少年審判所調査／雜録／新刊國際	
統計年鑑（一九二九年版）——予約購入者を募る	

本協会ニユース（六月中）……………一二一—一二三

（日誌）／出版／会員／理事新任（七月十五日附）

## 資料

常設国際司法裁判所規程改正議定書（英文）……………〔※巻末より〕 1—9

英露暫定漁業条約（英文）…………… 9—11

## 第一〇巻九号（一九三〇年九月一日）

主張 世界宗教平和会議……………本協会（奥山） 一—四

本協会常設仲裁々判問題委員会決議……………本協会 五—一〇

国際聯盟規約改正案に対する決議——昭和五年七月廿六日可決

カナダ保守党の勝利につきて……………法学博士 米田実 一一—一七

倫敦条約側面感……………水野広徳 一八—二七

聯盟協会と我国軍事制度／軍縮条約と軍備費軽減／国防の欠陥と作戦上の不十分

日本經濟の世界化と其諸問題……………猪谷善一 二八—三七

汎欧羅巴聯合論（二）……………鹿島守之助 三八—五二

前仏国首相「エリオ」の欧洲聯合論／欧洲聯合と英国、露国及米国／欧洲聯合の經濟的考察／国際聯盟

と欧洲聯合

新刊紹介 国際聯盟保健部長ドクトル・ライヒマン報告 同仁会訳

中華民國医事衛生の現状

聯盟事務局の改造問題

今年の国際労働会議と日本代表

新記録の盛会／成績概観／強制労働の問題／給料被傭者の労働時間問題／炭砒坑内労働時間問題／局長報告書の討議／結語

報告書の討議／結語

英国の最近政情

一九二九年五月の総選挙及び自由党の将来／労働党内閣の事蹟——外交問題・失業問題／保守党の内訌

——英帝国自由貿易／結語

米国移民法の問題

排日家の言分／邦人の渡米／排日略史／差別的移民法の提出／千九百廿四年移民法通過の曲折／現行移民法の内容／排日土地法問題／日米人の接触／排日家の態度

新刊紹介 法学博士大山卯次郎氏著 奇談一束阿弗利加土産

米国の新関税改正

関税改正法実施迄の経過／我国の輸出貿易に対する影響／内外諸国に惹起したる反響／国際経済に及ぼすべき影響

ハンガリーの国王問題

支那共産軍とその将来

反蒋政府と汪兆銘

古垣鉄郎

浅利順四郎

新納克巳

井田守三

菱沼勇

柳沢慎之助

長岡克暁

頼貴富

五二一五二

五三一六一

六二一七一

七二一七八

七九一八六

八六一八六

八七一九五

九六一一〇三

一〇四一一二

一一三一一一九

反蔣政府の出現／国民党大会史／理論の指導汪兆銘氏／国共党合離の失敗／新政府の方針／閻、馮汪の  
利害関係／新政局の全面的展望

聯盟の活動(49)……………国際聯盟事務局東京支局調 一二〇―一二四

最近の聯盟主催会合／極東海港検疫會議／学芸協力の諸問題／委任統治委員会——第十八回会合／雜録

本協会ニュース(七月中)……………一二五―一二六

(日誌)／出版／会員／懸賞論文募集

## 資料

歐洲聯合組織に関する覚書(仏文)……………〔※卷末より〕 1―14

## 第一〇卷一〇号(一九三〇年一〇月一日)

主張 欧羅巴と国際聯盟……………本協会(奥山) 一―五

タウンゼンド ハリスの全日誌——The Complete Journal of Townsend Harris

………法学博士 信夫淳平 六一―一五

重点は徐ろに動く……………田川大吉利 一六―二五

ロンドン海軍条約に関する妄想——日本は軍縮への途を塞ぐ?

………石丸藤太 二六―四〇

世界の犬勢に逆行す／日本の軍縮対策を顧みよ／所謂三大原則を葬れ／比率は日米海軍問題を解決せな



い／条約破棄論者の妄想／米国上院の論議を楯にとるは無意義／先づ米国の態度を見よ

新刊紹介 石丸藤太氏著 軍縮に目醒める……………四〇―四〇

国家統制論——社会学的見地に立つて……………四一―五一

東部国境異状なしや……………五二―六〇

仏伊二国の確執……………六一―六七

最近のフイリツピン独立問題……………六八―七五

ファシスト治下のポーランド……………七六―八四

英国政界展望……………八五―九二

英国労働党機関紙資本家と提携……………九三―一〇二

新「ヘラルド」の百万突破／その生立ち／オードムス印刷会社とは何か／新「ヘラルド」の宣伝／へ

ラルド」の更生号／百万突破と他紙への余波／旧新「ヘラルド」の広告料／更生に対する世評

今秋の英帝国会議……………一〇三―一一〇

蒋介石の統一事業概観……………一一一―一二一

蔣の第一期統一事業／蒋介石の第二期統一事業／蒋介石の第三期統一事業……………一二二―一二二

新刊紹介 高橋清三郎著 政治経済叢書 英国の失業問題 附英独仏の現状……………一二二―一二四

聯盟の活動(50)……………一二四―一二四

最近の国際聯盟主催会合／第十一回総会議題／学芸協力問題——パリ協会長更迭／東洋婦女売買実状調

査——日本視察は明年五月／航路標識統一会議——十月六日リスボンにて／選択条項批准国——三十ヶ

国に及ぶ／国際紛争平和処理

本協会ニュース（八月中）……………一二五―一二六

（日誌）／出版／会員／懸賞論文募集

## 資料

仏国政府の欧洲聯合組織覚書に対する各国の回答（英文・独文）……………〔※巻末より〕1―13

英国政府の回答（七月拾七日附）／伊太利政府の回答（七月四日附）／独逸政府の回答（七月拾五日附）

## 第一〇巻一一号（一九三〇年二月一日）

主張 国際聯盟の軍縮事業……………本協会（奥山）……………一―五

平和記念大講演会（予定）〔※告知〕……………国際聯盟協会 婦人平和協会……………五―五

米国移民法改正の前途……………大山卯次郎……………六―一六

孤立か協調か……………ヴァンデルヴェルド……………一七―二五

欧洲聯盟案の経済的基礎……………木村孫八郎……………二六―三一

新刊紹介 支那關係条約集…………………………三一―三一

仏蘭西新社会保険法と北部大罷業……………西本喬……………三二―四〇

労働争議とその原因／保険法の組織／社会保険の財源／実施前後の事情／本法に対する各方面の態度／

同盟罷業と社会保険法

新刊紹介 太平洋攻防 世界第二大戦 石丸藤太著……………四〇―四〇

ロシアの経済的躍進——主として計数的の観相……………	大平進一	四一—五二
概観／五ヶ年計画初年度実績（一九二八—二九年度）／一九一三年後の比較／第二年及び将来の予想		
新刊紹介 長野朗氏著 日本と支那の諸問題……………	馬瀬金太郎	五二—五二
独逸議會解散事情と総選挙……………		五三—六二
フーヴァー施政と中南米……………	磯部佑治	六三—七三
支那南北対立戦の回顧……………	森喬	七四—八一
新刊紹介 高木友三郎氏著 日本経済の実体……………		八一—八一
航空に関する国際協力(一)……………	真鍋藤治	八二—九七
序論／航空に関する国際会議……………		
新刊紹介 最近の関税問題……………		九七—九七
聯盟の活動(51)……………	国際聯盟事務局東京支局調	九八—一一一
最近の聯盟主催会合／第十一回聯盟總會日報／雜報		
本協会ニュース（九月中）……………		一一二—一一三
（日誌）／民俗芸術會議／徳川総裁滞欧近情／出版／會員		
資料		
英国経済使節極東訪問参考資料（邦文）……………		一一—一四
最近数年間ノ日英両国間ノ貿易状態（金額）／最近数年間ノ英支両国の貿易状态（金額）／支那ニ投下サ レタル列国ノ資本及企業ノ日英ノ綿糸布工業ノ比較／英国対日資本投下額調（昭和四年十二月末現在） 仏支安南条約及附属文書（仏文）……………		〔※卷末より〕 一—九

# 第一〇卷一二号（一九三〇年二月一日）

主張 日英米三国巨頭の軍縮放送……………	本協会（奥山）	一―四
英国経済使節に対する覚書……………	本協会	五―八
支那時局の多面的觀察……………	長野朗	九―一七
海軍補充計画と安全感……………	松下芳男	一八―二八
欧洲聯合問題に就て……………	鈴木九万	二九―四五
英印会議を前にして……………	中平亮	四六―五五
独逸国粹社会党の勃興とその本体……………	吉川末次郎	五六―六二
独りの仏国……………	三島泰雄	六三―七四
新刊紹介 大山卯次郎博士の筆に見るほんたうの米 国……………		七四―七四
米国の政治組織及其の活動（大阪時事新報批評）……………		七五―八一
米國聯邦議會の改選……………	吉田寛	八二―八七
国家の主権及び独立と国内問題——立博士の仏文新著……………	法学博士 信夫淳平	八八―九九
コロヴァインの國際法理論……………	山本三吾	一〇〇―一一一
航空に関する國際協力（二）……………	真鍋藤治	一一二―一一八
学術又は公共団体の事業／各国間の条約及諸国の航空法規 聯盟の活動（52）……………	國際聯盟事務局東京支局調	

最近の聯盟主催会合／第十一回総会の業績／雜録

本協会ニュース（十月中）……………一一九—一二三

（日誌）／大阪支部とアフリカ展／第十六回学芸協力委員会議事録／出版／会員

## 資料

英国經濟使節極東訪問參考資料（邦文）……………一一—一九

支那向綿布輸出高表（大日本紡績聯合会調査）／印度向綿布輸出高表（大日本紡績聯合会調査）／支那、

香港、印度向綿糸輸出高表（大日本紡績聯合会調査）／支那輸入綿布綿糸綿製品ノ趨勢（支那関稅統計）

／最近三ヶ年間日英支綿糸布及其他綿製品印度輸入ノ趨勢（印度関稅統計）／英国綿布輸出表／英国綿

製品輸出表／本邦綿布輸出高（其一）／本邦綿布輸出高（其二）／本邦綿糸輸出高（其一）／本邦綿糸輸

出高（其二）／英、米、日、印、支、紡績据付錘数表（万国紡績聯合会調査）／世界紡績棉花消費高（万国

紡績聯合会調査）